

報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 8 月 6 日				13 時	30 分	～	15 時 00 分
自治協議会名	神戸地区住民自治協議会			開 催 場 所		神戸地区市民センター		
出席議員	山口 康子、北森 徹、内原 敦							
	班 長	山口 康子		記録・報告者		山口 康子		
参加人数	14 名							

【主な意見・提言等】

<地域交通バス「北斗号」>

・市のガイドラインに沿って出来上がった地域バスですが、制度上実証運行後に本格運行を開始した。1 台のバスで西ルート、東ルートを 1 日 2 便の運行を行い、運賃は 100 円。昨今の燃料代の値上がり、人件費の値上がりで赤字となっている。運賃を 100 円から 200 円への値上げを検討中。（市内の行政バスは 200 円）役員がバスに添乗して利用者の意見を聞くといきなり倍に上がるのは困る。せめて 150 円という意見であった。連絡協議会で最終的にどうするか検討。

現在、運営経費の 8 割は市の補助があるが、残りの 2 割も負担していただきたい。このことを市長はじめ関係部局に口頭でお願いに行ったところだが、地域間格差をなくして、市が 10 割負担してくれれば他地区も地域交通バスを立ち上げやすいのではないかと。

・ある地区では、利用者が減少してしまったが北斗号の利用者の向上に努力する必要があるのでは。市に負担を求めるだけではないいけないのでは。

・利用者数は減ることなく安定している。

・北斗号は利用者の声を聞くと、生活していくうえで、なくてはならないバスとなっている。

→神戸北斗号は地域交通バスを立ち上げたモデル地域でもあるので、地域負担の件は地域要望として書面で上げていただいてはどうか。

<旧神戸小学校の跡地利用について>

・旧神戸小学校はハザードマップ上の避難所に指定されているのに、飲み水が使えない、天井は埃だらけ、いつ外壁が落ちてくるかわからない状況の中、なぜ指定避難所とされているのか。本当に避難所として考えるのなら、もう少し実効性を持たせるための手の打ちようがあると思う。

・神戸小学校以外にも廃校になった学校は市の財産となっているが、もっと民間活用する方法を考えられないのか。

→一旦は民間活用を始めたが頓挫したパターンがある。

・旧神戸小学校は現在「かんベスポーツクラブ」が活発に利用している。

- ・電気代はかんベスポーツクラブと地元自治協負担。
- ・文化祭で旧小学校跡地を使用したときに、落ち葉などがたまっている。
- ・指定避難所となっているが、行政としてその体制がとれているか、実際の運用を市がどう考えているか確認が必要では。絵にかいた餅であり実効性がないのでは。
- ・市内のハザードマップ上の避難所の実態がどうなっているのかを行政に問いたい。
- ・行政の防災組織として人員不足では。本当に大きな災害が起こったときに地域として不安である。

伊賀市議会議長 様

令和 7 年 8 月 18 日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 4 班

班長 山口 康子